

実験の概要：人口減少下で需要に合わせた供給最適化を行う「高松モデル」と、観光MaaS(Horai)のAPI連携基盤とを組み合わせた住民向けマルチモーダル交通アプリを作成・導入し、移動関連データ分析による脱自動車施策と、ポストコロナの需要変容を踏まえた施策との双方を検討・実行する実証実験を行う。

MaaSの提供により解決したい地域の課題

- 自動車依存による公共交通サービス水準低下の悪循環
- 鉄道・バス-自転車のマルチモーダルな交通モード連携の不足
- ポストコロナ社会の変容を踏まえた安心・安全な商店街回遊促進の実現
- 公共交通への転換を行うための移動ニーズにかかわるデータの不足

実験内容

- 昨年度構築の観光客向けMaaSアプリHoraiのプラットフォームを活用した、地域住民に最適なUXのアプリ構築**
 - マルチモーダルな公共交通機関の一括した検索・予約・決済
 - 商業施設・飲食店・観光地等の滞在コンテンツの情報提供
- ポストコロナの社会の変容を踏まえた商業施設や商店街の混雑把握・制御の実証事業**
 - MaaSアプリで取得する位置情報や、高松市中心部に設置したカメラから推定する人流データ、モバイル空間統計等を用いた商店街や店舗の混雑情報の把握
 - 時間指定の入場券や、ピークシフトによるプレミアム（インセンティブ）の付与等、行動変容を促すサービスの検討・実証
- 都市政策と連携し公共交通の利用を促進するサービスの提供**
 - 商業施設や交通のサービス券（MaaSアプリ内での商業施設利用者へのバス・鉄道利用の割引サービスや、公共交通利用者への商業施設の割引サービス券等）
 - 特定の層をターゲットにしたオンデマンド交通の提供

本格的な導入に向けた検証項目、目標値

- アプリのダウンロード数1000
- 高松市街地におけるシェアサイクルの利用回数が5%増加
- シェアサイクルを利用した中心商店街PoIへの訪問が10%増加
- シェアサイクルなど、それぞれの交通手段を利用した市街中心部におけるPoIへの訪問が定量的に測定できるようになること
- 中心市街地の回遊人数が実験期間開始前と比較し10%増加
- 混雑回避のためのプレミアムを与えた期間において、ピーク時のPoIの混雑率が5%緩和されること

協議会の構成員

構成員	scheme verge 株式会社(事務局・幹事社)、高松市、ことでんグループ、高松商運(株)、四国旅客鉄道(株)、香川県旅客船協会、四国フェリー株式会社、穴吹興産(株)、高松空港(株)、公益財団法人福武財団、(一社)せとうち観光推進機構、(株)電通、ANAホールディングス(株)、ソフトバンク株式会社、KPMGモビリティ研究所、損害保険ジャパン株式会社、株式会社NTTドコモ四国支社、三菱地所株式会社、香川大学 肥塚研究室、香川大学米谷研究室、国土交通省 四国運輸局、国土交通省四国地方整備局、香川県、小豆島町、土庄町、直島町
予定	東京大学 松尾研究室、一般社団法人みとよAI社会推進機構(MAiZM)、三豊市、MONET Technologies株式会社、株式会社ゼンリン

交通手段と連携するサービス

交通手段	連携サービス
<ul style="list-style-type: none"> ことでんバス (まちなかループバス含め乗合バス全路線) 高松琴平電気鉄道(全線) 四国旅客鉄道 高松市営レンタサイクル(高松市内) anabukiシェアバイク(高松市内) フェリー／高速艇 (株)NTTドコモのAI運行バス等 海上タクシー 航空便 	<ul style="list-style-type: none"> 高松中央商店街 高松市美術館 玉藻公園 香川県立ミュージアム 新香川県立体育館 サンポートホール高松 高松まちかど漫遊帖事業 まちなかパフォーマンス事業 (上記調整中)